

創作・表現活動を通じた地理学習の実践 —アナログ・デジタルの往還を通じて—

本コンテンツの構成

・本研修における目標

地理学習に創作・表現活動などの要素を入れた授業を実践するスキルを身につけること

・本研修コンテンツの構成

1) 解説編

創作・表現活動などの要素を入れた概念（デザイン思考）を学ぶ。

その上で、3D教材の作成方法について学ぶ

2) 実践編

1) の内容を導入した授業実践の例として、小学校・中学校・高校で授業を実践した。

その上で、研究者・小中高教員・教員を志す院生・学生を交えた整理会を実施した。

創作・表現活動を導入する意義についての議論を聞き、受講者にも授業案を考えてもらう。

内容

本研修における目的は、社会科・地理歴史科の地理的分野で苦手とする児童生徒が多い地形図読図の単元の学習モチベーションを喚起させるべく、創作・表現活動を取り入れた授業実践の例を通して新たな授業デザインを作成することである。研修の具体的内容については、以下の通りである。

1) 解説編

創作・表現活動を通じた授業実践の概要として、デザイン思考を含む概念や教材の作成方法（紙粘土、WebGIS を用いた 3D 地形表現、3D プリンタで作成した地形模型など）について解説する。その上で、大学の授業実践の構成案を提示し、受講者にも授業案を考えてもらう。

2) 実践編

1) の内容を導入した授業実践の例として、小学校・中学校・高校で実際に授業を実践した様子を提供する。その上で、授業に参加した研究者、小中高教員（地理・歴史・美術）、教員を志す学生（社会科・理科）を交えた座談会の様子も収録し、創作・表現活動を導入する意義やその発展可能性について解説する。その上で、受講者にも授業案を考えてもらう。

講師（所属等は令和7年3月時点）

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 講師 小倉拓郎

公文国際学園中等部・高等部 教頭 中村洋介

兵庫教育大学附属小学校 教諭 笈田太郎

兵庫教育大学附属小学校 教諭 古家美和

兵庫教育大学附属中学校 教諭 佐藤凌太

兵庫教育大学附属中学校 教諭 大西美佐歩

兵庫教育大学先端教職課程カリキュラム開発センター 教授 濱野 清

北海道大学地球環境科学研究所 准教授 早川裕弐

立命館大学衣笠総合研究機構アート・リサーチセンター 准教授 山内啓之

田谷の洞窟保存実行委員会 委員長 田村裕彦

Northumbria University 准教授 Vincent Tong

兵庫教育大学研究補佐員 小林勇介

筑波大学大学院環境科学学位プログラム 修士1年 鹿野友渚

兵庫教育大学学校教育学部 3年 島崎遥名